

# 2009 年度事業報告

(2009 年 4 月 1 日から 2010 年 3 月 31 日まで)

## I. 2009 年度活動概要

2009 年秋、「100 年コミュニティ」構想に基づく、都市型コミュニティ拠点のモデル事業第一号が神戸（伊川谷）にオープンしました。続く過疎型モデル事業である栃木県那須では、今春第一期着工がいよいよ始まりました。島根県吉賀町においても福祉専門学校を核とした人材育成プロジェクトが昨年都会から移住した第 1 期生を中心に展開されました。

2009 年度は、次の事項を中心とした活動を展開した。

### 1. 重点活動

#### 1) コミュニティ事業

##### 多世代コミュニティのモデルづくりの推進

これまで当協会は新たな多世代共生の住まい方、暮らし方への賛同者を募りながら、ニーズや時代に対応する具体的事業として、地域包括ケアを取り入れた拠点づくりのプロジェクトに取り組んできた。今年度、神戸市伊川谷において、「完成期医療福祉」の理念をより確かなかたちとする「ゆいま～る伊川谷」が 2 年の準備期間を経て完成。10 月 1 日、無事オープンを迎えた。

また、栃木県那須町における拠点づくりとして、「那須 100 年コミュニティ」事業も今春着工に向け本格稼働。「那須での暮らしを考える会」を主体に具体的な内容の提示を行った。「那須友の会」では情報をいち早く参加者へ提供すると共に「ロングステイの会」など月 1～2 回開催し、参加型のプロジェクトであることを強調、より多くの人々への参加を促すことに成功した。1 2 月には、現地にモップアップを建設し見学会を開催、実際の建築物の中で採光のイメージを体験できる見学会など趣向を凝らした企画を多数開催した。

このプロジェクトは、国交省の平成 21 年度第 1 回高齢者居住安定化モデル事業として採択された（中山間地域における多世代と共生のコミュニティ拠点）こともあり、多くの取材を受け話題となった。

#### 2) 人材育成事業

##### 人材育成プロジェクト

島根県・吉賀町ですすめられている人材育成プロジェクトは、7 月に締結した 5 社協定（吉賀町・六日市医療技術専門学校・石州会六日市病院・コミュニティネットワーク協会・株式会社コミュニティネット）を締結したことにより、福祉を核としたまちづくりに向けて本格的に乗り出した。過疎化のすすむ吉賀町へ都市部からの移住を促進すると同時に、介護福祉施設での実習の実施、更に、吉賀町まちづくりにおいては行政、医療機関等と一体となった取り組みなど、本年度都会から移住し入学した第一期学生を中心に参加し実践しながら人材育成のモデルづくりをした。

## II 定款事業報告

### 1. 社会の変革に対応し、人間性豊かな、住民自治に基づくコミュニティづくりを具体的に探求するための調査・研究及び提言等を行う（定款第4条（1）事業）

#### 1. 委員会活動

##### （1）コミュニティファンド委員会

###### ・主な活動

「100年コミュニティ」の実現化をコミュニティファンドを通じて支援できるように、まずは啓蒙活動としてセミナーを開催し、参加者からは、新たなお金の使い方への提案に関心を示される反応が多々見受けられた。セミナー広報と集客が課題となった。

###### <開催セミナー>

###### 1 講師：小溝毅（株式会社地域活性ファンド顧問）

- ①「新しい貯金で幸せになる方法」 【東京】4月15日15名
- ②「もう一つのお金の価値」 【東京】7月18日12名
- ③「年金から見た資産運用」 【東京】11月19日10名

##### （2）事業評価委員会

2007年度から実施しているコミュニティネットワーク協会事業評価をもとに、事業者の経営運営状況や事業の改善計画と推進状況などについて新しく指標を増やし、高齢者の財産と生活を守り、安心して住まうことが出来る住宅を供給する優良な事業者を支援する仕組みとして、2010年度から実施のための準備をすすめるなか、11月簡易普及版の検討、簡易認定施行調査を開始。

3月には、当協会賛助会員である11社の事業者を迎えての勉強会を開催した。

##### 3) 完成期医療福祉委員会

実践の場として、今年10月オープンした100年コミュニティの拠点である「ゆいま〜る・伊川谷」において、定例開催の「神代先生を囲む会」では完成期医療福祉が支える暮らしセミナーや、完成期研修会の定例開催をはじめ、保険制度を補う取り組みとして「自由診療」について毎回多くの参加者と共に、医療・介護制度や死との向き合い方など多岐にわたって討論する場となった。

開設後には、「保証人を立てないシステム勉強会」「共同墓地勉強会」「任意後見人制度勉強会」「介護保険のしくみと認知症」など、より実質的なテーマでの勉強会、セミナーなどを多数開催し、入居者のみならず外部参加者も含め、毎回様々な意見交換の場となっている。

#### 2. 調査・研究事業

##### 1) 北海道厚沢部町高齢者施設等整備調査

平成20年度において実施した「高齢者住宅及び高齢者の生活環境に関する意識調査」等の結果を踏まえ、高齢者が将来にわたり安全で安心して住み続けられるような複合的機能を有する高齢者住宅の建設を具体化するために必要な諸項目に関する調査を行った。

同時に当該調査結果に基づき、民間事業者が高齢者施設を経営する仮定とした場合の事業計画案を策定する。

## 調査の概要

厚沢部町並びに周辺地域の高齢者住宅のマーケティング、厚沢部町の地域ケアシステムの検証、函館市内有料老人ホーム・町立、道立病院や障害者施設・近隣町特養施設等を主な調査対象とした。

## 2. コミュニティづくりを推進するための事業を開発し、事業の運営組織のネットワークを構築し、コミュニティ事業を普及する（定款第4条（2）事業）

### 1) 那須プロジェクト

#### I. 2009年度活動概要

2007年7月からスタートした本プロジェクトも、第一期着工に合わせ2010年4月無事「地鎮祭」の日を迎えることが出来た。今年度は、昨年からスタートした「那須での暮らしを考える会」に加え「ゆいま～る那須友の会」「ロングステイの会」など参加型を促すイベントを多数開催し、昼食を囲みながら、参加者との活発な意見交換の場をもった。

また7月には、初めてのバスツアーによる宿泊現地見学会を開催。オープンしたばかりの「森林ノ森牧場」併設のカフェにて新鮮な牛乳やアイスを堪能した。また8月には、当協会初となる夏合宿を3日にわたり開催。当協会理念である「コミュニティの再生」「自立と共生」「居住福祉」「完成期医療福祉」をテーマに、神代会長をはじめ理事、地元ネットワークの方々などを講師に迎え、寝食を共にしながら、大変密度の濃い研修合宿となった。

2010年1月那須塩原市にて「NPO法人高齢社会をよくする女性の会」理事長 樋口恵子さんを迎えての講演会「どう生きる、人生百年社会へ～意志のあるところに道あり～」を開催。老若男女合わせて343名もの方々により大盛況でほぼ満席となった。また3月には、那須町の総合福祉施設にて、那須町湯本の温泉街にある温泉診療所「見川医院」医院長 見川泰岳さんによる講演会「人に元気を与える心の診療」を開催。療養宿を求めて地元のみならず全国から院長の診療を求めて患者さんが頼りにする院長の魅力がきっちり詰まった、心やすらぐ講演内容となった。

## 媒体掲載

- 2009/4/25 クロワッサン「女の新聞 介護 自然と人が共生するコミュニティで私らしく」
- 2009/8/5 高齢者住宅新聞「国交省 高齢者居住安定化モデル事業 26件採択」
- 2010/2/12 下野新聞「牧場にピンクリボン 那須14日まで乳がん撲滅企画」
- 2010/4/26 下野新聞「第1期工事始まる 高齢者専用の賃貸住宅」
- 2010/5/4 福島民法「那須で多世代共生住宅モデル 高齢者の住居や働く場 医療施設」
- 2010/5/11 東京新聞「エコで楽しい非電化生活」
- 2010/5/12 朝日新聞「ゆいま～る那須 ついのすみか建設へ 自分らしい老いを探る」

### 2) 神戸・伊川谷プロジェクト

#### I. 2009年度活動概要

2年間の準備期間を経て、今秋「多世代・共生の暮らし方、住まい方の実現を目指す100年構想に基づき」具現化したゆいま～る伊川谷がついに開設した。その構想である「世代や健康状態、生活の価値観もさまざまな人々が集い、お互いの生活を尊重しながら、3世代以上をわたって継承・維持していくまちづくり」を目的とし、入居者・事業者、そして地域の方々が一

緒になって誰もが自分らしく生き、そして自分らしく死ぬことができる豊かなコミュニティづくりを実現できるよう、終のすみかをつくる場となることを目指す。また、伊川谷は当協会初のモデル事業として、「元気な時は自由な暮らし、老いとともにサービスを手厚くし、介護が必要になればしっかりとケアが受けられ、見取りや周辺整理まで任せることができる」理念コンセプトに基づいている。開設記念オープンパーティには、内外から大勢の方がお祝いにかかけつけ、完成期医療福祉実践の場完成を喜び合った。

#### 媒体掲載

- 2009/9/30 神戸新聞「高齢者専用賃貸住宅 あす伊川谷にオープン」
- 200/11 月刊シニアビジネスマーケット「オープン時の入居率 89%の高専賃に併設された小規模多機能住居宅介護」
- 2009/11/25 高齢者住宅新聞「介護・医療の未来を読む 求められる適合高専賃を神戸に開設」
- 2010/1/11 神戸新聞「老いを結ぶ 1 助け合いの "家" 理想の最期 神戸から」
- 2010/1/12 神戸新聞「老いを結ぶ 2 顔なじみ 思いをくんだケアを」
- 2010/1/14 神戸新聞「老いを結ぶ 3 ついのすみか 孤立せず、自分らしく」
- 2010/1/15 神戸新聞「老いを結ぶ 4 ボランティア つながりは、消えない」
- 2010/1/18 神戸新聞「老いを結ぶ 5 人生のまとめ "完成"へ、どう生きる」
- 2010/1/19 神戸新聞「老いを結ぶ 6 "100年コミュニティ" 深まる地域との交流」

### 3) 島根・吉賀町プロジェクト

福祉専門学校の六日市学園を核とした人材育成事業に加えて、今年度は吉賀町からの業務委託を中心に都市と地方の移住・交流受入システムの構築事業に取り組み、行政・教育機関・病院などと連携して地方再生事業の展開を始めた。

#### 媒体掲載

- 2009/7/1 山陰中央新報「福祉核のまちづくり推進・吉賀町が5社協定へ」
- 2009/9/24 中国新聞「都市住民定住へ施設・広島で26日セミナー」
- 2010/1/1 毎日新聞「もうひとつの風景・2010 家族点描 過疎の町で介護を学ぶ」
- 2010/1/19 朝日新聞「雇用をつくる 3 働きながら資格に挑戦 農業・介護、就職難に支援策」
- 2010/1/20 読売新聞「町ぐるみ 介護職養成 失業者 授業料免除で専門学校へ」
- 2010/1/26 産経新聞「救いの手福祉留学 島根の専門学校都市部の失職者」
- 2010/1/29 山陰中央新報「益田フェア 福祉の仕事目指す高校生 介護現場の理解深める」

### 3. 高齢者等がグループで共住する場、コミュニティの交流の場、コミュニティ事業の拠点等、新しい生活スタイルを実現するコミュニティの場づくりを支援する（定款第4条（3）事業）

#### 1) 那須での暮らしを考える会・私の暮らしたい高齢者住宅を作る会・那須友の会

「いつまでも安心できる場所で自分らしく暮らす」コミュニティづくりの拠点づくりとして始まった「那須での暮らしを考える会」は「私の暮らしたい高齢者住宅をつくる会」として、那須のみならず、範囲を限定せずに住まい（建物）＋サービス提供ではなく、そこに必ず交流（コミュニティ）

がある暮らしを提唱するものとして新たにスタートし勉強会、セミナーを開催した。

#### 4. コミュニティ事業の指導者、組織者、協力者等の人材を研修、育成するとともに、そのネットワークを構築して協力関係づくりを推進する（定款第4条（4）事業）

##### 1) 福祉専門学校運営

###### (1) 島根県・吉賀町報告

「医療・介護・福祉・人材育成及び居住福祉」の視点で連携を図る目的で昨年11月締結した4者協定に続いて、今夏7月、吉賀町・学校法人六日市学園・社会医療法人石州会・CNグループ{社団法人コミュニティネットワーク協会、株式会社コミュニティネット}の5者において、「福祉を核としたまちづくり」に乗り出すためあらたに5者協定を締結した。この協定により、行政や住民が連携し、互いに支えあうコミュニティの場づくりにむけて動きだした。

#### 5. コミュニティ事業及びコミュニティづくりを促進するための企画の実施及び啓発・広報・出版を行う（定款第4条（5）事業）

##### 1) 暮らしと住まいの情報センターの常設

情報の受発信や、相談を受けて問題解決する場として、高齢者住宅、ふるさと暮らし、地域再生を柱とした「暮らしと住まいの情報センター」を開設。ウェブや通信物等で情報発信するほか、常設の展示場での情報提供、専門の相談員による住みかえを主とした相談業務を行った。

また、住まい方、暮らし方を中心としたセミナーや懇親会を開催し、情報提供や意見交換を行うほか、利用者同士の交流の場としても活用した。

高齢者住宅情報センターとして東京・名古屋・大阪でネットワークを組み、個々のニーズに合わせた高齢者住宅の情報提供を行った。

##### <2009年度の主な活動>

第三者的な立場で高齢者およびその家族の住み替え相談に対し、情報提供や紹介を行った。高齢者住宅情報センター主催で高齢者住宅に関するセミナーや見学会、私の暮らしたい高齢者住宅をつくる会、などを定期開催。イベントとしては、東京と大阪で事業者を集めたフォーラムを開催した。

また、各種高齢者団体や行政、民間企業などが主催するセミナー講師を多数依頼された。大阪では高齢者住宅情報センターが講師となり、大阪市立住まい情報センターが4回連続セミナーを企画、開催、反響を呼んだ。

#### 媒体掲載

2009/11/25 高齢者住宅新聞「介護・医療の未来を読む 高齢者住宅セミナー2009in 大阪より」

2009/12/07 サンケイ新聞「いきいき 終のすみかの水先案内人」

2009/12月号 シニアビジネスマーケット「シニア住宅の価格戦略」

2010/2月号 トータルヘルス情報誌ぷれさんす「がんばりすぎない介護」のために

2010/2月号 ひょうごの福祉「高齢者住宅について」

2010/2/2 読売新聞「クロスロード おおさか 住環境の整備急務」

- 2010/2/8 日本経済新聞「終のすみかはどこに」※3回シリーズ掲載
- 2010/2/10 ロスアンゼルス生活情報誌「Light House」高齢者住宅日米比較
- 2010/2/12 朝日ファミリー「終の棲み家について一緒に考えてみませんか」
- 2010/3月 月刊ことぶき「みんなで考える介護 介護つきの住まいを選ぶ」
- 2010/3月 消費者情報「特集終のすみかはどこに 高齢者が求める住宅・施設 終末期は人生の完成期を基本に」
- 2010/4/5 高齢者住宅新聞「特別座談会 有料老人ホーム・高専賃の現状と今後の理想像」
- 2010/5/2 サンデー毎日「年金だけでハッピー<老後の住まい>」

#### <TV・ラジオ>

- 2010/10月 NHK TV「ゆうどきネットワーク」東京情報センターの紹介
- 2010/2月、11月 毎日放送ラジオ「ノムラでノムラだ」に生出演。高齢者住宅の現状説明。

## 2) 広報

### 1. 会報誌「ゆいま〜る」を年4回定期発行した

#### ①発行:

38号 2009.04.15

\* 巻頭特集 吉賀町の決心 ― 過疎に生きる 吉賀町の営み ―

\* 座談会: 町の再生へ ― ふくし留学という試み ―

ことば: 心のホームレス (翻訳家 ヤンソン柳沢由美子)

39号 2009.07.15

\* 巻頭特集1 老後の住まいと暮らしの選択 ― 今、高齢者の求める暮らしとは ―

\* 巻頭特集2 老後の住まいと暮らしの選択 ― 期待される高専賃+小規模多機能 ―

ことば: 家族とは?―老いる視点から― (臨床心理士 高木忠彦)

40号 2009.10.15

\* 巻頭特集1 団地再生 ― なぜ団地を再生しなくてはいけないのか ―

\* 巻頭特集2 団地再生 ― 人のつながりが団地を蘇らせる ―

ことば: 在宅支援セルフサポートの終の棲家 (CN協会理事 アトリエ4A代表 建築家 天野彰)

41号 2010.01.15

\* 巻頭特集1 雇用創出 ― 経済不況の今だから「雇用される」から「働く」にシフトする ―

\* 巻頭特集2 雇用創出 ― 限界商店街、元気に働いて最期まで暮らす決心 土澤まちづくり会社と「こっぽら土澤」 ―

ことば: 「次の自分探し」の胎動の中で (CN協会理事 NPO法人住んでみたい北海道推進会議総括プロデューサー 大山慎介)

### 2. みなこいの森カフェブログ

2009年秋、リニューアルオープンし旬な情報発信・交流の場とした

### 3. 銀座通信を隔月定期発行した

高齢者住宅情報センター主催の見学会、セミナー開催の情報提供（東京）

### Ⅲ. 協会運営

#### 1. 総会

\*2009.6.21（日）

#### 2. 理事会

\*2009.06.21（日）、2009.03.14（土）、2010.6.19（土）

#### 3. 常務理事会

\*2010.02.20（土）、4.17（土）、

#### 4. 会員加入促進活動

##### 1) 加入状況 10年3月末現在（09年度末）

法人：正会員	4、	賛助	67		
団体：正会員	4、	賛助	3		
個人：正会員	96、	賛助	105		
合計 正会員	104	賛助会員	175	=279	（08年度末 264）

##### 2) 情報提供の拡充

（1）常務理事会の定期報告

（2）各種セミナーなどの情報提供

5. 事務局体制 : 合計 1名  
事務局 1名